



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 世紀東急工業株式会社
コード番号 1898 URL <http://www.seikitokyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小寺 浩
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 古川 司

TEL 03-3434-3256

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	23,008	10.3	△226	—	△294	—	△344	—
23年3月期第2四半期	20,859	△4.0	△37	—	△131	—	△220	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △349百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △232百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△2.09	—
23年3月期第2四半期	△1.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	41,683	7,160	17.2	19.53
23年3月期	47,339	8,544	18.1	8.77

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,160百万円 23年3月期 8,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,200	11.5	2,180	3.4	2,000	2.9	1,860	8.5	9.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	187,072,037 株	23年3月期	128,972,037 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	203,578 株	23年3月期	201,498 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	152,887,118 株	23年3月期2Q	128,773,839 株

(注) 優先株式を含む発行済株式数については、次ページ「(参考)発行済株式数について」をご覧ください。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 発行済株式数について

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期 2 Q	194,092,037株	23年3月期	143,802,037株
②期末自己株式数	24年3月期 2 Q	203,578株	23年3月期	201,498株
③期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期 2 Q	164,966,572株	23年3月期 2 Q	146,070,725株

※各株式数には当社が発行する優先株式を含めております。

※1株当たり四半期純利益は、③期中平均株式数を算定上の基礎としております。

※1株当たり純資産は、普通株式の期末発行済株式数を算定上の基礎としております。

(参考) 平成24年3月期の個別業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,600	12.1	1,900	5.3	1,800	9.8	9.28

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
3. 補足情報	9
四半期個別受注の概況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災で寸断されたサプライチェーンの立て直しにより供給制約が解消され、企業の生産活動や輸出には持ち直しの動きが見られたものの、欧州財政危機や米国経済の減速傾向による海外景気の下振れ懸念、さらには円高基調が続く為替相場など先行きへの不安要因も多く、依然として予断を許さない厳しい状況が続きました。

道路建設業界におきましても、国の平成23年度予算における公共投資関係費は数次にわたる補正予算により前年度を上回るとの見通しが示されているものの、当第 2 四半期におきましては総体的に建設需要の増加が顕在化するには至らず、また、企業間競争が熾烈を極めるなか、主要資材であるアスファルトの仕入価格も高水準で推移するなど、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、社会資本整備の一端を担う企業グループとして、事業活動を通じ震災の復旧・復興支援に尽力する一方、本年 5 月に策定した「中期 3 ヶ年経営計画」に基づき、収益の源泉となる工事受注の確保や舗装用資材の販売促進に全力を挙げて取り組むとともに、経営資源の効率的な活用や調達コストの見直しを進めるなど、収益構造の改善を推し進め、利益確保に努めてまいりました。

しかしながら、当第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高（製品売上高および不動産事業等売上高を含む）は320億93百万円（前年同期比14.6%増）、売上高は230億 8 百万円（前年同期比 10.3%増）を確保したものの、損益につきましては、経常損失は 2 億94百万円（前年同期は 1 億31百万円の経常損失）、四半期純損失は 3 億44百万円（前年同期は 2 億20百万円の四半期純損失）となり、ともに前年同期を下回る結果となりました。

なお、当社グループにおける建設事業および舗装資材製造販売事業におきましては、第 1 四半期から第 3 四半期に比べ、第 4 四半期の売上が占める割合が相対的に高く、一方、事業運営にかかる費用については年間を通じて恒常的に発生することから、当社グループの売上および損益の状況は季節的に大きく変動いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第 2 四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較し56億55百万円減少の416億83百万円となりました。売上債権が減少したことなどにより流動資産は55億64百万円の減少となり、また、有形固定資産、投資その他の資産がそれぞれ減少したことにより、固定資産は90百万円の減少となりました。

一方、当第 2 四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較し42億71百万円減少の345億23百万円となりました。流動負債は、仕入債務が減少したことなどにより38億88百万円の減少となり、また、借入金の一部を返済したことなどにより、固定負債は 3 億82百万円の減少となりました。

また、当第 2 四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失 3 億44百万円を計上したことに加え、平成23年 8 月に自己株式（A 種優先株式および B 種優先株式の一部）の取得を実施したことにより、前連結会計年度末と比べて13億84百万円減少の71億60百万円となりました。この結果、自己資本比率は17.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間におきましては、税金等調整前四半期純損失3億6百万円を計上したものの、売上債権の回収が進み、完成工事未収金や売掛金が減少したことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは、7億86百万円の資金増加（前年同期は27百万円の資金減少）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間におきましては、舗装資材製造販売事業にかかるプラント設備の更新を実施したことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは3億90百万円の資金減少（前年同期は1億83百万円の資金減少）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間におきましては、借入金の一部返済に加え、平成23年8月31日に自己株式（A種優先株式およびB種優先株式の一部）の取得を実施したことにより、財務活動によるキャッシュ・フローは15億25百万円の資金減少（前年同期は20億25百万円の資金減少）となりました。

以上に加え、連結除外による減少額を調整した結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末と比べ11億34百万円減少し、18億72百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、優先株式の取得請求権行使に伴う発行済株式数の増加により1株当たり情報にかかる数値を変更いたしました。その他の業績予想数値については、前回公表時（平成23年8月9日）から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	816	715
受取手形・完成工事未収入金等	17,131	9,694
未成工事支出金	6,787	9,960
材料貯蔵品	361	319
短期貸付金	2,203	1,169
その他	3,320	3,158
貸倒引当金	△118	△80
流動資産合計	30,501	24,936
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	6,926	6,952
機械、運搬具及び工具器具備品	15,418	15,533
土地	12,169	12,169
減価償却累計額	△18,499	△18,719
有形固定資産合計	16,014	15,937
無形固定資産	121	129
投資その他の資産		
その他	1,498	1,488
貸倒引当金	△796	△807
投資その他の資産合計	701	680
固定資産合計	16,838	16,747
資産合計	47,339	41,683

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	19,353	13,718
短期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	102	62
未成工事受入金	4,498	6,623
完成工事補償引当金	162	166
工事損失引当金	263	170
賞与引当金	383	377
その他	585	342
流動負債合計	26,348	22,459
固定負債		
長期借入金	8,650	8,150
退職給付引当金	3,693	3,811
その他	103	103
固定負債合計	12,446	12,064
負債合計	38,794	34,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	500	500
利益剰余金	6,062	4,682
自己株式	△19	△19
株主資本合計	8,542	7,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	△2
その他の包括利益累計額合計	2	△2
純資産合計	8,544	7,160
負債純資産合計	47,339	41,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	20,859	23,008
売上原価	18,925	21,202
売上総利益	1,934	1,806
販売費及び一般管理費	1,972	2,033
営業損失 (△)	△37	△226
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	—	4
土地賃貸料	8	8
雑収入	12	7
営業外収益合計	20	20
営業外費用		
支払利息	96	71
雑支出	17	16
営業外費用合計	114	88
経常損失 (△)	△131	△294
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	36	—
ゴルフ会員権償還益	1	—
特別利益合計	39	—
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	21	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54	—
その他	3	—
特別損失合計	79	11
税金等調整前四半期純損失 (△)	△171	△306
法人税、住民税及び事業税	48	38
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△220	△344
四半期純損失 (△)	△220	△344

(四半期連結包括利益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△220	△344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△4
その他の包括利益合計	△12	△4
四半期包括利益	△232	△349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△232	△349
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△171	△306
減価償却費	383	340
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	△19
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	△5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	127	117
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54	—
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	96	71
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	0
有形固定資産除却損	21	11
売上債権の増減額(△は増加)	11,496	7,397
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△2,920	△3,173
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,577	△5,634
未成工事受入金の増減額(△は減少)	2,133	2,125
未払消費税等の増減額(△は減少)	△392	△96
その他	9	129
小計	215	957
利息及び配当金の受取額	3	1
利息の支払額	△128	△74
法人税等の支払額	△116	△98
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27	786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△207	△384
有形固定資産の売却による収入	6	1
ゴルフ会員権の売却による収入	2	2
貸付金の回収による収入	8	8
その他	6	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183	△390
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	10,150	—
長期借入金の返済による支出	△10,665	△500
自己株式の取得による支出	△1,510	△1,025
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,025	△1,525
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,236	△1,129
現金及び現金同等物の期首残高	4,675	3,006
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△4
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,438	1,872

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前連結会計年度末と比較して、以下のとおり株主資本の金額に著しい変動が認められます。

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成23年3月31日残高	2,000	500	6,062	△19	8,542
当第2四半期連結累計期間の変動額					
自己株式の取得	—	—	—	△1,025	△1,025
自己株式の消却	—	—	△1,025	1,025	—
四半期純損失(△)	—	—	△344	—	△344
その他	—	—	△10	—	△10
当第2四半期連結累計期間の変動額合計	—	—	△1,379	△0	△1,379
平成23年9月30日残高	2,000	500	4,682	△19	7,162

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

個別受注の実績

	受注高	
24年3月期第2四半期	31,269百万円	13.6%
23年3月期第2四半期	27,534百万円	△17.0%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同四半期比較増減率

受注実績の内訳

(単位：百万円)

区分	前年第2四半期 (平成23年3月期 第2四半期)		当第2四半期 (平成24年3月期 第2四半期)		増減		前期 (平成23年3月期)		
	金額	構成 比率%	金額	構成 比率%	金額	増減率 %	金額	構成 比率%	
受注高 建設部門	国内官公庁	6,577	23.9	9,319	29.8	2,741	41.7	14,603	24.3
	国内民間	13,118	47.6	13,956	44.6	837	6.4	27,101	45.1
	計	19,696	71.5	23,275	74.4	3,579	18.2	41,705	69.4
製品部門等	7,838	28.5	7,994	25.6	155	2.0	18,412	30.6	
合計	27,534	100.0	31,269	100.0	3,735	13.6	60,117	100.0	